

記入例 KPR-A48-KS

本資料は、各電力会社の標準整定値を元に設定可能な値を記載しています。また、「→」付きの項目は出荷時設定から変更が必要な項目です。系統連系前に確実に設定してください。

低圧太陽光発電〔JET認証品〕用系統連系資料

ご契約名義： ：お客さま記入欄

① 発電設備諸元

メーカー名	オムロン(株)	J E T 認証登録番号	MP-0164	
型 式	KPR-A48-KS		電力記入欄	適・否
電気方式	単相 2線式 (注1) (接地方式：)	逆変換装置	電圧型電流制御方式	
定格電圧 [kV]	0.2		過電流制限値 [%]	140
定格出力 [kW]	4.80	圧自調動整電	突入電流値 [A]	40
発電機容量 [kVA]	5.05		調整可能範囲 [V]	107～113
設定力率 [%]	95		初期設定値 [V]	109
力率一定制御機能	<input type="checkbox"/> 皮相電力一定制御 <input checked="" type="checkbox"/> 有効電力一定制御 <input type="checkbox"/> 制御機能なし			
力率設定変更可否	<input checked="" type="checkbox"/> 変更可 <input type="checkbox"/> 変更不可			
最大出力(注2) [kW]				
商用側との絶縁方式 (注3)	<input type="checkbox"/> 絶縁トランス設置 <input type="checkbox"/> 絶縁トランス内蔵型			

注1：三相3線式の場合は、接地方式を記載するとともにパワコンの仕様及び主回路構成の分かる仕様書または技術資料を添付のこと。(接地方式がない場合は、「-」で可)

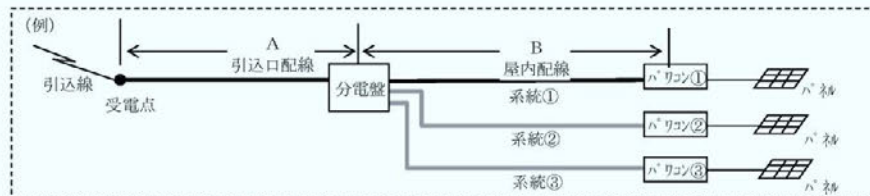
注2：最大出力は、パワコン容量とパネル容量のうち小さい方、かつ運転力率を考慮した値を記入のこと。

(例) <皮相電力一定制御の場合> (パワコン容量<パネル容量)
 $10\text{kVA (設備容量)} \times 0.95 \text{ (設定力率)} = 9.5\text{kW}$ (設定力率における最大出力) $\Rightarrow 9.5\text{kW}$ を最大出力の欄に記入
 <有効電力一定制御の場合>
 $10\text{kVA (設備容量)} = 10\text{kW}$ (設定力率における最大出力) $\Rightarrow 10\text{kW}$ を最大出力の欄に記入

注3：三相3線式では、商用側(電力会社低圧系統)に連系する場合、絶縁トランスの設置が必要なパワコンがある。

② 引込口配線及び屋内配線の諸元

	線種	サイズ	距離	最大出力
A 引込口配線 (受電点～配電盤)			m	kW
B 屋内配線 (配電盤～パワコン) 系統①			m	kW
〃 系統②			m	kW
〃 系統③			m	kW



※ 最大出力は、パワコン容量とパネル容量のうち小さい方、かつ運転力率を考慮した値を記入ください。
 ※ 電気工事使用申込書およびお客さま設備工事設計図(完成版)兼施工証明書など屋内配線諸元を記載した資料がある場合はその資料を添付することです。
 ※ 分電盤以降が複数の系統に分かれて発電機が接続されている場合は、各々の系統の配線諸元について記入ください。
 ※ また、系統が多いなど上記の記入欄に記載できない場合は、屋内配線諸元を記載した資料を添付ください。

③ 保護協調チェックリストおよび保護継電器整定値一覧表

保護協調 / 主保護 / 主保護電圧整定値

見次

保護継電器等		リレー		タイマー		電力記入欄	
		申請整定値	推奨整定値 〔整定範囲〕	申請整定値	推奨整定値 〔整定範囲〕		
お客さま 構内事故主	過電流要素付 漏電遮断器 OC付ELCB (注1)		メーカー名：_____ 極数素子数：____P____E 型 式：_____ 逆接続（可・不可） 定格電流：_____				適・否
	過電圧 O V R	115 V	115% 〔110～120%〕	1.0 秒	1.0 秒	適・否	
	不足電圧 U V R	80 V	80% 〔80～90%〕	1.0 秒	1.0 秒 〔0.5～2.0 秒〕	適・否	
	周波数低下 U F R	58.2 Hz	58.2Hz 〔57.0～59.4Hz〕	1.0 秒	1.0 秒 〔0.5～2.0 秒〕	適・否	
	周波数上昇 O F R	61.2 Hz	61.2Hz 〔60.6～61.8Hz〕	1.0 秒	1.0 秒 〔0.5～2.0 秒〕	適・否	
お客さま 単独運転防止	受動式 (注2)	方 式： 周波数変化率検出方式 整定値： _____		0.5 秒 検出：_____ 保持：_____	検出時限0.5秒 保持時限5～10秒	適・否	
	能動式 (注3)	方 式： ステップ注入付周波数 整定値： フィードバック方式 _____		瞬時	0.5 秒～1.0 秒	適・否	
復電後遮断機投入防止				300 秒	300 秒以上	適・否	
事故時運転継続（FRT）要件適用の有無				有・無			

注1：逆接続可型であること。なお、OC付ELCBのカatalog等を添付のこと。

また、パワコンから引込口間に複数設置する場合は、引込口側のものを記載する。

注2：JET認証登録番号が「MP」で始まる場合は、タイマーの申請整定値の保持時限は「-」で適とする。

注3：JET認証登録番号が「MP」で始まる場合は、タイマーの申請整定値は「瞬時」で適とする。

④ 単線結線図

・解列箇所(遮断器種別・容量)、パワコン、分電盤、負荷、計器、変圧器等を明記した単線結線図を添付のこと。

⑤ JET認証品の証

・JET認証証明書(写)を添付のこと。